

INFORMATION

No.2020.32
2020年12月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当検査センターにおきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2020年12月21日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

手引き掲載頁	コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
なし	3207	EBウイルス DNA定量	血液 2.0	③ EDTA- 2Na入り	冷蔵 (28日)	3~5	310 ※7	PCR (リアルタイム PCR)	検出せず (Log IU/mL)	重 裏面 参照

※7：微生物学的検査判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
特殊伝票	EBウイルス核酸定量	2021年3月29日(月)
特殊伝票	EBウイルス核酸定量(WBC)	ご依頼分をもって受託中止



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

● EB ウイルス DNA 定量

WHO International Standard で標準化された体外診断用医薬品を用いた検査です。

Epstein-Barr (EB) ウイルスは、成人の90%以上が感染しているウイルスであり、生涯にわたり潜伏感染を続けることが知られています。既感染者はEB ウイルス関連抗体が陽性になることや、白血球細胞への潜伏感染から健常人の検体でDNA 検査が陽性になることがあるため、抗体検査やDNA 定性検査だけでは不十分であり、EB ウイルス感染症の診断にはリアルタイムPCR 法の定量検査による、EB ウイルス感染症のモニタリングと迅速な診断が望まれています。

本項目は、1st WHO International Standard で標準化された体外診断用医薬品を用いて、血液および血漿中のEB ウイルスDNA をリアルタイム法でDNA 定量し報告いたします。

▼疾患との関連

EB ウイルス感染症
免疫抑制状態や臓器移植患者における日和見感染症

▼関連する主な検査項目

EB ウイルス DNA (クロナリティ)

▼検査要項

検査項目名	EBウイルスDNA 定量
項目コードNo.	3207
検体量	2.0mL
容器	③ EDTA-2Na入り
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~5 日
検査方法	PCR (リアルタイムPCR)
基準値	検出せず (Log IU/mL)
検査実施料	310 点 (「D023」微生物培養同定・定量検査「8」)
判断料	150 点 (微生物学的検査判断料)
備考	重 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

●参考文献

Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132~136, 1999. (検査方法参考文献)

日本造血細胞移植学会：造血細胞移植ガイドライン EB ウイルス関連リンパ増殖症 2018年2月

日本小児感染症学会：慢性活動性EB ウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン 2016

(臨床的意義参考文献)